

◆ 単元をつらぬく問い

私たちはどのようにして歴史を学ぶのだろうか

私たちが歴史を読み解く際には、様々な資料（史料）が活用できます。ここでは、様々な地域にも存在する史跡や碑文を具体例にあげ、私たちの住む地域でのできごとが日本や世界の歴史とつながっていること、また、資料から歴史を読み解く方法について考えていきます。以下の会話文の穴埋めをしながら、歴史の学び方について考えていきましょう。



[先生]

それでは、今日の授業を始めましょう。初めに、この写真を見てください。これは、私たちの町にある銅像と石碑なのですが、これは何のためのもののでしょうか。

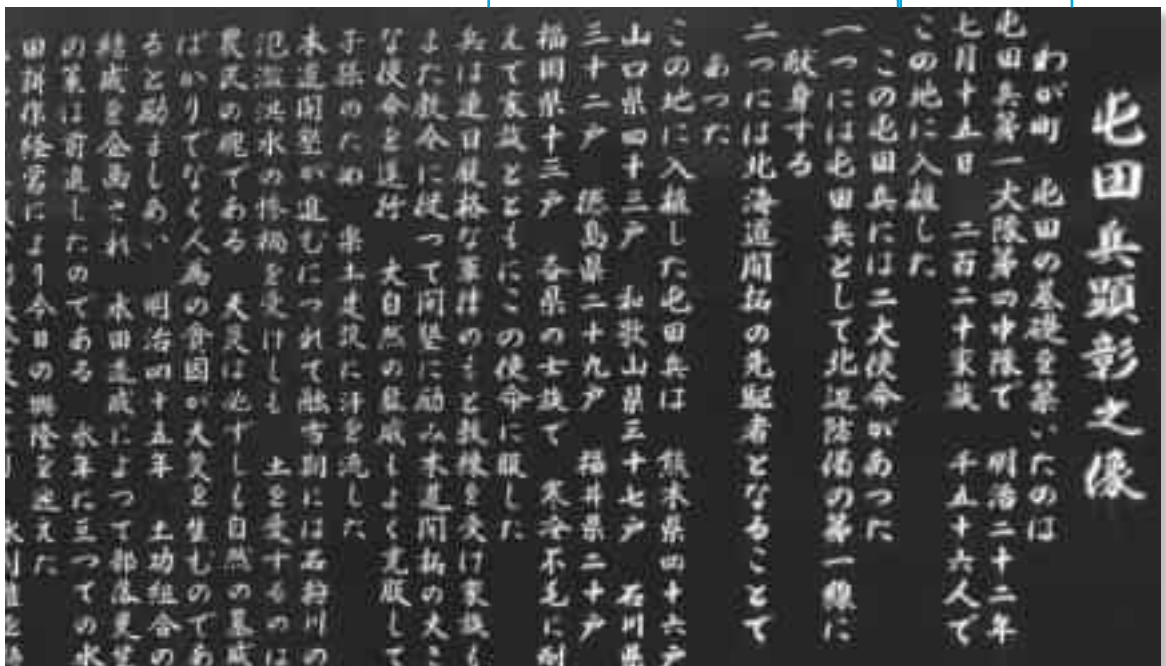
▼北海道札幌市にある屯田兵顕彰之像



[生徒]

銅像の服装が軍服のようなので、
(①) のものなのでしょうか。
銅像が指を指して明日を見据えているようなので、何かの指導者にも見えます。

▼銅像の下に記されている碑文





では次に、台座の碑文に何が書かれているかを見ましょう。
碑文から何が読み取れますか？



【生徒】

屯田兵について書かれています。この碑文
よると、私たちのまちに入植した時期は、
(②) だったの
ですね。

A



屯田兵については、これまで
どんなことを学習しましたか？



中学校のとき、明治時代の北海道で、
入植した土地の(③)と
北海道の(④)の両方に
従事する人たちだと習いました。碑文に
もそう書いてあります。私たちのまちを
開拓したのは、様々な地方からやってき
た(⑤)たちだったの
ですね。

B



この銅像が置かれている広場
には、このような石碑もあります。

▼銅像と同じ広場にある石碑



私たちのまちに、屯田兵の本部が置か
れていたということですね。
だから、私たちの住む地区の名は「屯
田」なのですね。



他にこれらの石碑から読み取れることや、
疑問に思ったことはありませんか？



屯田兵なのだから、入植した人は農民で
あると同時に軍人でもあるわけですね。
ということは、この地区の先達^{せんだつ}も戦争に
参加していたのでしょうか。





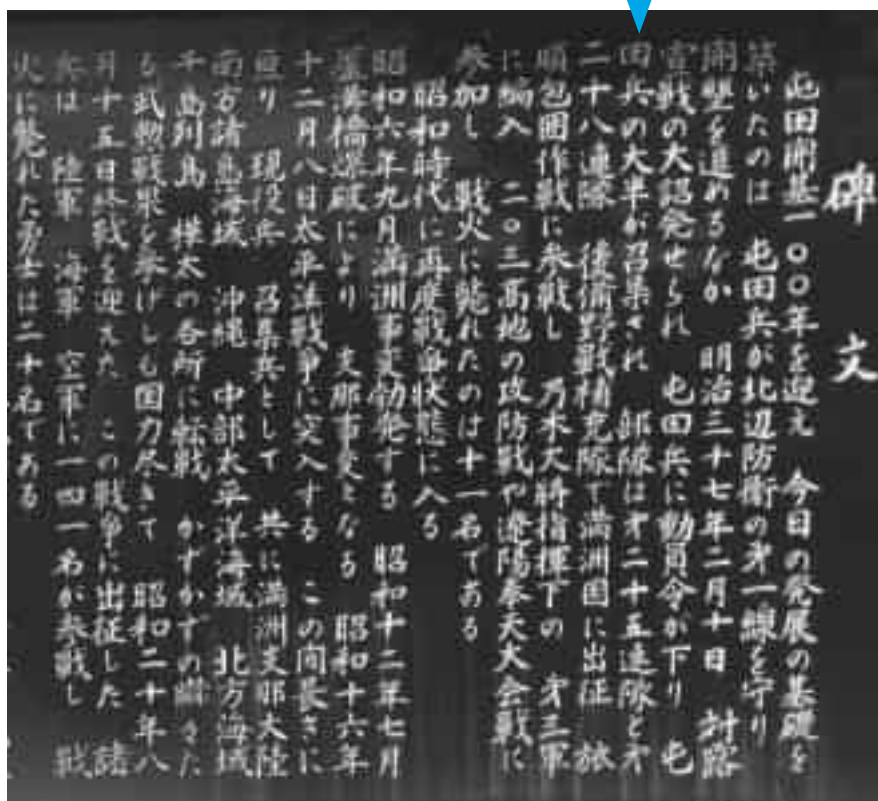
なるほど。それでは、こちらの石碑と碑文も見てみましょう。何が読み取れますか？



このまちの方も（⑥）戦争と（⑦）戦争、（⑧）戦争に参加したのですね。自分の身の回りの人が世界の歴史に関わっていたことを知り、少し驚いています。



このまちの方々も、日本国民として国のために命がけて最前線に立ったのですね。



ちょっと待ってください。それは、碑文からは読み取れませんね。歴史を読み解くには資料が必要ですが、資料を読み解く際には、客観的に読み取れることと自分の考えをしっかりと区別する必要があります。その資料が誰によって何のために作られたものかも重要です。思い込みをもって資料を読むと読み違いが起こってしまいますよ。

さらに言うと、「日本国民」とはどういうものなのでしょう。『日本国民』というものが歴史の中でどのような変化をし、現在に至ったのかを考えることが大切です。当たり前だと思うことを色々な角度から再考察して、より深い理解をしていくのが、『歴史総合』という科目なのです。

ワーク 1 ここであげた例のように、自分の身の回りで世界の歴史と結びついている事例をなるべくたくさん見つけ、書いてみましょう。

ワーク 2 歴史を読み解くための資料（史料）には、ここであげた石碑の他にどのようなものがありますか。思いつく限り書いてみましょう。

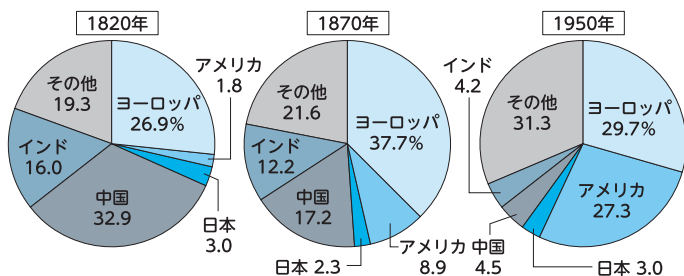
ワーク 3 歴史の資料を読むときに気をつけなければならないことにはどのようなものがあるでしょうか。これまでの会話文を参考にまとめましょう。

「近代化と私たち」の問いを表現する

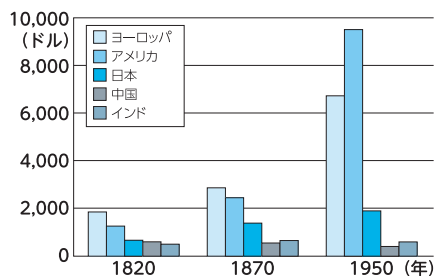
◆以下にあげる資料は「近代化」の歴史に関連するものです。これらの資料を読み解きながら、これから「近代化と私たち」を学習するうえで、自分にとっての「近代化」を読み解くための「問い」を表現しよう。

1 経済的側面から“近代化”を考える

資料 1-1 世界における GDP に占める各国の割合



資料 1-2 一人あたり GDP の推移



(資料1-1、2出典：内閣府『世界経済の潮流』2011年Ⅰ)

問 1 資料 1-1、2 について述べた下の文章について、正しければ○を、間違っていれば×を() 内に記入しよう。

- () (1)中国の世界 GDP に占める割合は、この期間中低下を続けている。
- () (2)アジア地域の世界 GDP に占める割合は、1820年には半分以上であったが、1870年には4分の1以下にまで低下した。
- () (3)1820年から1950年までで見た場合、もっとも割合をのばしているのはアメリカである。
- () (4)日本は世界における GDP、一人あたり GDP ともにこの期間中一貫して増加している。
- () (5)ヨーロッパの1人あたり GDP は1820年から1950年にかけて3倍以上に増加した。

問 2 資料 1-1、2 を参考に、1820年から1870年にかけてアジアと欧米で生じた変化の経済的・政治的要因が何だったのかについて考えてまとめよう。

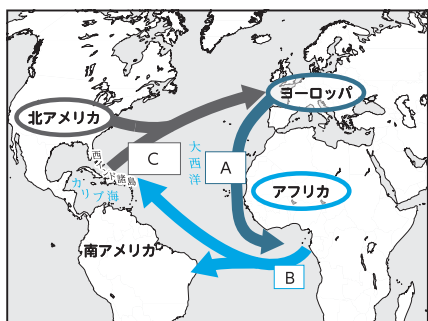
アジア	
欧米	

2 物、人の動きから近代化を考える

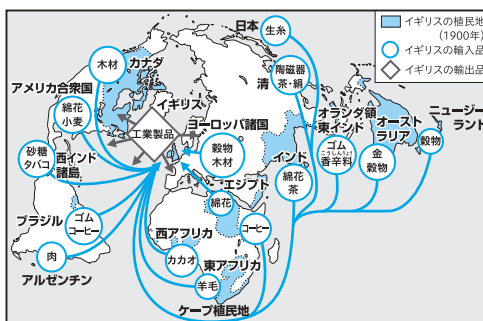
問 3 資料 2-1 の空欄 A～C に適する語句として、正しい組み合わせは次のうちどれか。

- ア A：奴隷 B：砂糖、コーヒー C：火器、日用品
- イ A：砂糖、コーヒー B：奴隷 C：火器、日用品
- ウ A：火器、日用品 B：奴隷 C：砂糖、コーヒー
- エ A：火器、日用品 B：砂糖、コーヒー C：奴隷

資料 2-1 18世紀の大西洋三角貿易



資料 2-2 19世紀末のイギリスを中心とした世界市場



問 4 資料 2-1、2 をヨーロッパとアメリカに着目して比較し、貿易の変化についてまとめよう。
18世紀のヨーロッパとアジア（特にインド・中国）との関係についても調べ、その変化をまとめよう。

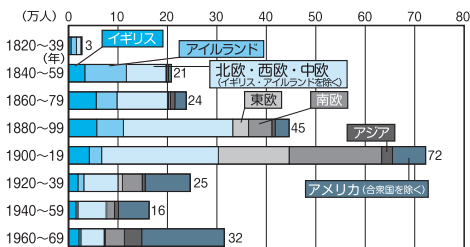
欧米	
欧亜	

資料 2-3 環大西洋圏の地域別奴隷輸入数

年	イギリス領 北アメリカ	イギリス領 カリブ	オランダ、 デンマーク、 フランス領カリブ	スペイン領	ブラジル	その他	計
1501～1600	0	0	0	170,400	29,200	700	200,300
1601～1700	15,100	311,300	180,400	225,600	782,200	6,190	1,520,790
1701～1800	297,600	1,811,800	1,359,700	146,000	1,990,700	7,620	5,613,420
1801～1866	78,360	195,100	133,100	753,500	2,061,380	149,900	3,371,340
計	391,060 (3.7%)	2,318,200 (21.7%)	1,673,200 (15.6%)	1,295,500 (12.1%)	4,863,480 (45.4%)	164,410 (1.5%)	10,705,850 (100%)

（『史料から考える世界史20講』岩波書店、2014年）

資料 2-4 アメリカへの移民数の推移



（『近代国際経済要覧』東京大学出版会、1981年）

問 5 資料 2-3について、地域別・世紀ごとの差異に着目し、読み取れることをまとめよう。また、
欧米諸国の奴隷貿易廃止がいつ頃起こったかについても調べてまとめよう。

読み取れること	
奴隷貿易廃止	

問 6 資料 2-4について、19世紀前半に起こった変化とその要因（政治、経済、社会、技術など）
について考察してまとめよう。同様に世紀転換期に生じた変化とその要因についてもまとめよう。

19世紀前半	
世紀転換期	

3 奴隷制、移民について当時の文献資料から考える

資料 3-1 ジェームズ・H・ハモンド上院議員の議会発言（1858年3月4日）

（アメリカ合衆国の）南部では、北部が生み出すことのできない作物、それも素晴らしい作物をいくつか栽培できるのです。……もしも三年間、綿花が全く供給されなかったら、どうなるでしょうか。……あのイギリスは崩壊し、文明化された他の世界をもすべて巻き添えにするでしょう。……どのような社会においても、卑しい仕事や、生活に必要なだけでも単調で骨の折れる作業に従事する集団が必要です。それは、知性も低く、熟練を必要としない人々の集団です。……この集団は、政治体制と社会の両方において、まさに最下層の人々です。……幸いなことに南部では、この目的に相応しい人種が見つかりました。それは明らかに劣等人種でありながら、気質、熱意、従順さ、気候への順応性といった条件に適合しています。われわれは、彼らを奴隷と呼び、自らの目的のために使用しています。……南部の奴隷は、黒人という異なる劣等人種です。われわれが与えた身分は、彼らにとってみれば改善です。

資料 3-2 エルンスト・ミデンドルフ『ペルー』（1893年）

ペルーへの黒人輸入が禁止されてからというもの、奴隷制が（1861年）廃止されるずっと前から、大農園（アシエンダ）での労働者不足が目立つようになりはじめていた。とりわけ、サトウキビの栽培規模拡大に取りかかろうとするときは甚だしかった。仮にも白人の移民が多数いたならば、この不都合を取り除くにはもっとも好都合だったかもしれない。しかし、それには乗り越え難い障害が立ちだかっていた。というのも、ペルーではヨーロッパからの入植者には合衆国におけるような自営農になる見込みはほとんどなかったからである。……農場主自身にとっても、第一級人種に属する人間を最下層の人種と同じ立場におくことなど、決して許されないことのように思われた。……そのため、移民は（ヨーロッパ以外の）別の地域に求められねばならず、農場主の目は中国に向けられたのであった。そこにはきつい畑仕事にも暑さにも耐えうる非常に多くの人々がいた。しかも、甚だしい貧しさのゆえに多くの人々がさしていやがることなく、故郷をはなれることに意を決するであろうと考えられた。

（資料3-1、2 出典：『世界史史料7』岩波書店、2008年）

問 7 **資料 3-1、2** を読み、奴隷制を必要とした背景、奴隷制を正当化した論理、奴隷制廃止後に起こった問題とその解決策についてまとめよう。また現代日本で移民を受け入れる際のメリットとリスクについても考えよう。

背景	
論理	
問題	
日本	

4 近代化と感染症の問題について図版を通して考える

資料 4-1 錦絵「虎列刺退治」(1886年 [明治19年])



資料 4-2 中国東北部での感染症流行を伝えるフランスの新聞 (1911年)



問 8 資料 4-1、2 はそれぞれ何という感染症についての資料か。

資料4-1		資料4-2	
-------	--	-------	--

問 9 資料 4-1、2 のように、19世紀以降に様々な感染症が拡大した要因として考えられることは何か、考察してまとめよう。

問いを表現

これまでの資料の読み解きで生じた疑問点をふまえて、「近代化」とは何かについてまとめ、「私にとっての近代化を読み解くための問い」を表現してみよう。その際には、以下のキーワードから1つまたは複数を選んで、疑問に感じた点やこれから学びたいことを、「問い」の形で表現しよう。

※問いについては、巻頭の「問いの例」も参照

【6つのキーワード】

「交通と貿易」／「産業と人口」／「権利意識と政治参加や国民の義務」／
「学校教育」／「労働と家族」／「移民」

何か？ 「近代化」とは	
「問い」	

1 18世紀のアジア経済と社会

◆ 単元をつらぬく問い

18世紀のアジアや日本ではどのような生産と流通が展開され、それらはアジア地域間・アジアと欧米間の貿易とどのように結びついていたか



史実の確認

1 東アジアの国際秩序と経済

テーマ 清はどのようにして支配と影響力を世界に及ぼしたか

a. 清の中国支配

- ・ 17世紀、中国東北地方の満州族（女真）が台頭し中国支配を確立。17世紀後半～18世紀の（①）帝・（②）帝・（③）帝時代が最盛期
- ・ 清は周辺諸国からの（④）を受け入れ、周辺国の首長を王に任命して中国中心の東アジアの国際秩序＝（⑤）を維持。
- ・ 国家間の枠外の民間貿易は互市として統制し辺境で行わせる
【例】西洋人との交易は中国南部の（⑥）に限定し、特権貿易商人組合＝公行に管理させる

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

2 江戸時代の日本社会と国際関係

テーマ 江戸時代の日本は周辺諸国とどのような関係を営んだか

a. 幕藩体制

- ・ 17世紀初め江戸幕府が成立。幕府は全国の大名に（⑦）を義務づけるなど統制を強め、幕府と藩による全国支配体制＝（⑧）が成立

b. 「四つの口」の対外貿易

- ・ 幕府はキリスト教布教を禁止し、日本人の海外渡航・海外在住者の帰国を禁止。こうした国内体制が19世紀以降「（⑨）」と呼ばれるようになっていった
- ・ 他方で、幕府は統制のもと複数の窓口で対外貿易を展開：幕府管理の（⑩）で対オランダ・清、（⑪）で対朝鮮、（⑫）で対琉球、（⑬）で対アイヌ。これらの窓口が江戸時代の対外貿易の「四つの口」を形成
- ・ オランダ商館長は（⑭）を提出して幕府に海外情報を提供した

- ・朝鮮は江戸に(15))を派遣、琉球は(16))や謝恩使を派遣。他方、幕府と(12) 藩は貿易の利益を求めて琉球王国への清の冊封を容認
- ・(13) 藩を通じたアイヌ交易では、中国の絹織物が沿海州・サハリンを通じてもたらされるこの絹織物は(17))と呼ばれた
- ・(13) 藩は本土商人にアイヌの支配・交易をゆだねる制度＝(18))を定めてアイヌからの搾取を強めた

c. 対外貿易の輸出入品

- ・対清交易では銀銅や蝦夷地の(19))など海産物が輸出され、漢方薬・絹織物・陶磁器・書物などに、(12) 藩が琉球産の(20))を加えて国内に輸入

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

3 江戸時代の社会と生活

テーマ 江戸時代の日本社会はどのように発展したか

a. 全国の流通網と商品経済の発展

- ・江戸時代の日本では「四つの口」の対外貿易と関連しながら国内で社会の一体化が進み、全国の流通網が発展。西廻り航路で(13) と近畿地方が結ばれ(21))によって昆布などの海産物が大量に取り引きされ(22))として清に輸出される
- ・各藩で特産物生産が進められ、農村では商品作物の生産が盛んになり、干鰯ほしかや鯨粕にしんかすなど(23))が使われて生産が拡大する
- ・さらに農民の副業として(24))・タバコ生産が広まり、農地拡大とも相まって18世紀には人口が2倍ほどに増大

b. 江戸時代の諸改革と社会

- ・18世紀後半、老中(25))は商品経済の発展を背景に、商人の経済力を利用して幕府財政の改革を図るが(26))で社会不安が増大して失脚
- ・その後、老中(27))が寛政の改革で財政引き締めと倭約策を進める
- ・社会不安の中で農村では(28))、都市では(29))が起こる

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

4 ヨーロッパの海外進出と市民社会

テーマ アジア諸国との貿易を通じて18世紀のヨーロッパにはどのような変化が生まれたか

a. ヨーロッパの「生活革命」と啓蒙思想

- ・大航海時代以来、西欧諸国はアジア貿易や植民地経営のため（30）を設立して国家的支援を行いアジア産品を輸入
- ・18世紀半ばのイギリスなど西欧諸国では大陸産の（31）から中国産の（32）に人気が移行し、喫茶の慣習の広がりや西インド諸島産の（33）や茶器としての（34）の需要が拡大。衣料ではインド産の（35）（＝キャラコ）が人気に
- ・こうして生まれた新たな生活文化の流行は「（36）」と呼ばれる
- ・同時代の（37）は自らの文化を相対化するため中国を手がかりにした

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

史料・資料を読む

1 清朝の東アジア支配と江戸幕府

資料 1 べんばつ 辮髪（べんぱつ）の強制

図1 長髪と辮髪（左が長髪、右が辮髪）

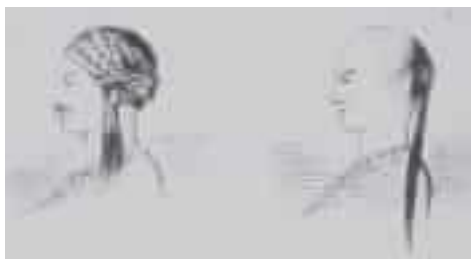


図2 辮髪を結っているところ



資料 2 満州族の辮髪

狩猟民である満州人と農耕民である中国人とでは風俗習慣がちがうのは当然であるが、そのうち深刻な政治問題にまでなったのが頭髪のゆいかたであった。満州人は頭髪の一部をのこして頭をそり、のこした毛をあんでおさげにするのである。『異国物語』に「頭をそり、てっぺん二寸四方ほど髪をのこし、ながくして三つにわけ候」とあるとおりである。このゆいかたを弁髪（辮髪）という。

一方、中国人のは束髪と言って総髪である。興味あることは、このころの東アジアでは頭の一部を

そった民族に、満州族のほか、日本人、モンゴル人があり、束髪しているのは中国人と朝鮮人であって、一三世紀以降はこの二大髪族の対立抗争の歴史ともいえるのである。そった方が尚武派、のばした方が尚文派で、これをたとえると国際的な武士階級と公卿ないし町人階級の抗争ともみられよう。

(三田村泰助「満州からきた王朝」『世界の歴史 9 最後の東洋的社会』中公文庫、1975年)

問 1 清朝は中国の正統王朝として、科挙などの中国の伝統を尊重する一方で辮髪を強制したり反満州思想の弾圧(文字の獄)を行ったりした。辮髪の強制や思想の弾圧はどのような効果を目指したものか。

資料 1、2 を参考にして考えよう。

資料 3 清朝皇帝の多民族統治と国際秩序 (乾隆帝時代)

支配地	支配者称号	支配地のカテゴリー
満州	王	直轄地
中国本土	皇帝	直轄地
(台湾)	皇帝	直轄地
チャハル (内モンゴル)	ハン	藩部
ハルハ (外モンゴル)	ハン	藩部
青海 (ワラ部)	ハン	藩部
チベット	ハン	藩部
ジュンガル部 (イリ地方)	ハン	藩部
回部 (東トルキスタン)	ハン	藩部
朝鮮	皇帝	朝貢国 (冊封)
琉球	皇帝	朝貢国 (冊封)
ベトナム	皇帝	朝貢国 (冊封)
タイ	皇帝	朝貢国 (冊封)
ビルマ	皇帝	朝貢国 (冊封)

問 2 **資料 3** に示されるように、清朝は各地域・民族に異なる統治体制をとった。清朝はどのような意図でこのような違いをつけて統治を行ったのか。

問 3 江戸幕府は、清朝と直接公的な関係を結ばず、貿易は私貿易という形で行った。幕府がこのような形をとった意図はどのようなものだったのか、考えてみよう。

問 4 教科書などで前漢時代の版図、唐時代の版図、清時代の版図、現代中国の地図を比較し、どのような地域が各王朝の版図に加わり、それらの地域が現在の中国の領土に含まれているか、整理しよう。

まとめ① 問 1 ～ 4 の内容を参考にしながら、清朝の支配が現代に及ぼした影響について説明しよう。

2 四つの口ー「蝦夷地」とアイヌ民族

問 5 教科書などを参考に江戸時代に「鎖国」において開かれていた「四つの口」をあげよう。

資料 4 蝦夷錦

図 1 蝦夷錦



図 2 蝦夷錦から作られた幕



(国立歴史民俗博物館所蔵)

(蝦夷錦とは) 江戸時代、アイヌの人々は狩りや猟で得たものを、中国の商人と取引していました。中国から手に入れた品々のなかには、中国の役人の官服であった豪華な絹織物（きぬおりもの）がありました。これはアイヌ民族から江戸時代の日本にもたらされ「蝦夷錦」と呼ばれました。

問 6 資料 4 を見て「蝦夷錦」の材質と特徴について気づいたことをあげよう。

資料 5 「夷酋列像」

1789年、松前藩領国後場所と根室場所において、和人商人の取引条件や労働条件をめぐる、一部のアイヌが蜂起し、和人70人あまりが殺された。この事件をクナシリ・メナシの蜂起と呼ぶ。この蜂起を、松前藩は討伐隊を派遣して鎮圧したが、このとき松前藩に協力したアイヌの乙名（おとな、首長の意）たちを、松前藩家老で画家でもあった蠣崎波響が描いた。これが「夷酋列像」である。

図 1



イコトイ（アッケシ乙名）

図 2



ツキノエ（クナシリ惣乙名）

図 3



シモチ（アッケシ脇乙名）

(©Besançon, musée des beaux-arts et d'archéologie-Photographie P. Guenat)

問 7 資料 5 「夷酋列像」に描かれた「イコトイ」「ツキノエ」「シモチ」の特徴をあげ、この絵が描かれた背景を考えよう。

資料 6 間宮林蔵の樺太「探検」の記録(1)

文化五辰年の秋、再び間宮林蔵一人をして、北蝦夷（樺太）の奥地に至る事を命ぜられければ、其年の七月十三日、本蝦夷地ソウヤ（宗谷。北海道最北端）を出帆して、其日シラヌシ（後の白主、樺太島最南端）に至る。此処土着の住夷多からざれば、従行の夷をやとふ事あたわず。夷船の奥地に趣く者あるをまち、とかくして日数三日逗留し、同十七日、夷船に乘くみ此処を発し、日数五日を経て、同二十三日、トンナイ〔地名〕（本斗。北緯四六度四〇分）に至る。此処亦シラヌシのごとく番屋ありて、番人はに居し地夷を指揮す。土着の従夷も亦多き処なれば、則番人をして船子と為すべき者を択みやとふといへども、此年の夏初見分の時従ひ行し蝦夷等帰り来りて後、奥地異俗の夷情悍猾の甚しき、又は土風の異候、行路の艱苦なる事を語り伝へければ、従ひ行くべしと云者一人もなく、彼是して日数八日の間此処に遅滞し、種々の謀をなしてよふやく船子六人をやとひ、八月三日、此処を発し、日数十三日を経て、同十五日、リョナイ〔地名〕（千緒。北緯四九度十四分）に泊しめるに、翌十六日、山旦夷数十人船六隻に乗組み此処に来り、従夷を捕らへて種々の謎言妄語を吐き、奥地にいたる事なり難しなど罵り、且其もたらし行処の糧酒・諸雑器を暴に奪ひ取んとしければ、従夷は大に恐怖し、言語は通ぜず、実に施すべき謀なく、能々従夷を論して其暴意に逆せざらしめ、其程をはかりて米・酒など若干分与し其心を慰ければ、漸にして暴とどまり、船を出して南方に進み去りぬ。

（『東韃地方紀行 巻之上』（東洋文庫484）、平凡社、1988年）

資料 7 間宮林蔵の樺太「探検」の記録(2)（資料 6 の山旦夷の乱暴狼藉のあと）

従夷其始末を観察して、是より南方に帰り去んと云出し、さらに奥地へ進むべしと云者なかりしかば、林蔵苦心する事ただならずといへども、従夷の云処実に眼前見る処なれば、其恐怖する事其理なきにあらず。さらばとて是より帰り去る時は、何れの時にか奥地に至り得べしと、夫より酒など与へ、色々の恵辞などを吐て其心を慰ければ、漸に解心して従ひ行べしと云に至り、大いに力を得、和洋を窺ふの間、日数十一日にして、よふやく風波も穏なれば、同月二十五日、此処を出、九月三日、トッショカウ（トッソ）〔地名〕に至りつきぬるに、是より奥地は異俗の夷域に入る事既に深く、且日をおふて寒威増劇に趣き、貯糧も亦多からざれば、従夷頻に帰り去んと云て強ゆべからざる勢ひなれば、やむ事を得ずして終に船をかゑし、九月十四日、リョナイに帰りつきぬ

（『東韃地方紀行 巻之上』）

問 8 「夷」「従夷」とはどのような人々か。

問 9 間宮林蔵は、樺太北部探検でどのようなことに苦労していたのか、資料 6、7 から読み取れることをまとめよう。

資料 8 間宮林蔵の樺太「探検」の記録③

(資料 7 のあと、間宮林蔵は樺太西岸を北上して樺太島の北にまで到達した。さらに彼は大陸への渡航を目指す、すでに糧食は尽き、交易すべき物品も少なくなったため、彼の周囲の人々の不満も高まっていた。)

此上は我(このうえ)〈林蔵〉一人此処(ここ)にとどまり、時を待て東岸に至るべしと決し、六夷(さら)に帰り去んや否を問ふに、皆去るべしと答けるまゝ、其事(その)を以て此処(ここ)の酋長(しゅうちやう)コー二と称する者に告しに、コー二答けるは、実にしかるべき事なり、然れども、ニシバ(アイヌ語のニシバにあたる。あなた・主人・富者の意)一人此地に留れん事、其意にまかせ難き事あり、疾病の事は論なく、死亡のことも亦なしといふべからず、万一(いち)さることの有し時は、必我属の殺害(ころ)する処なりと疑る事有というとも、我属何を証としてか、本邦に陳謝すべき、願くば従夷の内一、二人を留置き、其余は悉く(ことごとく)帰り去しめん事(しい)しかるべしと云けるまゝ、初めより従ふ処の初島夷一人を留めて、其余は悉くウショロ(ロシア)にかへし、何卒(なにとぞ)此島の周廻(しゅうかい)を極め尽さんと此処に滞留し、奥地の事ども時々コー二にたよりにて質問せしに、魯齊亜(ロシア)の境界も此島を去る事遠からず、其属夷時々船に乘じ、燧巧(すいこう)の火器(ひやうちし)(燧石発火装置の鉄砲)を持してヲニヤー〔地名〕(ナニオーの誤写か。「里程記」にこの地名見えず)の海上に遊獵することすくなからずと聞ければ、猶更(なおさら)其経界(しやうかい)の詳(しょう)を極めざらむも云がいなき事に思ひ、幾年此処にありとも是非其経界を極むべしと決し、終(しまい)にコー二が家(くわきよ)に寓居し、その業を助け、漁獵をなし、木を樵(こ)り、網をすきなどして在けるに、…

※文中のコー二は樺太の民族ニヴフの長であったと推定される。

(『東韃地方紀行 巻之上』)

問10 間宮林蔵が、大陸(黒竜江下流)に渡航するに当たって、最も頼りにした人はどのような人だったか、資料 8 から読み取って答えよう。

まとめ② 「鎖国」と呼ばれた江戸幕府は、実は外の世界に「四つの口」を持っていた。その窓口の1つ北の口の外にはどのような世界が広がっていたのだろうか。これまでの学習で理解したことをまとめよう。

2 工業化と西洋の衝撃

◆ 単元をつらぬく問い

「工業化」は私たちの生活に何をもたらしたのだろうか



史実の確認

1 産業革命

テーマ イギリスにおける産業革命はどのように進展したか

a. イギリス産業革命の背景

- ・ 広大な海外市場の獲得、大西洋三角貿易による莫大な利益獲得により資本が蓄積されていた
- ・ 資本家による大規模農場経営（囲い込み）により、農村から都市に移住する者が増加していた
- ・ 鉄鉱石や（①）など豊富な地下資源に恵まれていた
- ・ インド産（②）の人気の高まり、需要が増加していた
 - イギリスの主要産業であった毛織物業者が打撃を受け、（②）の輸入が禁止された
 - 原材料の（③）を輸入し、（②）を国内で生産する動きが高まった（輸入代替）

b. 産業革命の進展

- ・ 綿工業分野の技術革新：家内工業・手工業が没落し、工場制機械工業が確立する
 - 飛び杼^ひの発明（1730年代）→ 紡績機の発明（1760～70年代）→ 力織機の発明（1780年代）
- ・ （④）革命：ワットが（⑤）を改良し、様々な機械の動力に利用される
 - 水力を利用する工場は川辺に限定されるが、（①）を動力源とする蒸気機関を利用すれば、工場の立地は限定されない
- ・ （⑥）革命：蒸気機関車や蒸気船が実用化される
 - 人や物資の迅速な大量輸送が可能になる

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

2 産業革命と社会の変化

テーマ 「工業化」は「豊かさ」を生み出したと言えるのだろうか

a. 資本主義の発展と社会の変化

- ・ 資本主義社会の形成：生産手段や資金を持つ（⑦）は、雇用した（⑧）に賃金を支払って生産活動を行い、利潤を追求する
 - （⑧）は、支払われた賃金で生活を営む
- ・ 労働問題の発生：子どもや女性の労働、低賃金・長時間労働、劣悪な労働環境など
- ・ 工業都市の発展：綿工業の中心都市（⑨）、重工業都市バーミンガムなど

- ・都市問題の発生：スラム（貧民街）の形成、大気汚染や水質汚濁など不衛生な環境、疫病の流行

b. 社会主義思想の誕生

- ・労働運動の展開：(8) は、(10)) を結成し、団結して労働条件の改善を図る
→工場法（1833年）で、年少児童労働の禁止や18歳未満の労働時間の制限が定められる
→ (11)) 運動のように、男子普通選挙などを求めた政治的活動も展開される
- ・(12)) 思想：資本主義を批判し、社会的不平等を是正して平等な社会の建設を目指す
→マルクスは、(12) による政権の樹立、私有財産制の廃止と生産手段の共有化を説く

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

3 世界市場の形成

テーマ 産業革命の波及は、世界にどのような変化をもたらしたか

a. イギリスの繁栄と産業革命の波及

- ・産業革命後のイギリス：圧倒的な工業生産力を背景に「(13))」となる
→諸地域に進出し、原料供給地や市場として自国の経済圏に組み込む
→19世紀半ばには (14)) 貿易体制を確立し、諸地域にも (14) 貿易を求める
- ・後発資本主義国：他の西欧諸国（ベルギー・フランス・ドイツなど）、アメリカ合衆国
→イギリスに続き、産業革命を推進し、諸地域への進出を図る
- ・産業革命に至らなかった国や地域：アジア・アフリカ・ラテンアメリカ
→産業革命を経た国々から工業製品が流入し、国内工業の発展が阻害される
→特定の農産物や天然資源の輸出に依存する (15)) 経済化が進む
→欧米諸国に経済的に従属する
- ・国際的分業体制が進展し、「世界市場」が形成される

b. 世界の一体化の加速

- ・(16)) の実用化：運河や道路にかわり、鉄道が陸上交通の中心となる
→ヨーロッパ各地、アメリカ、インド、中国、日本にも鉄道が敷設される
- ・(17)) の実用化：帆船にかわるもの。石炭の補給地も整備され、大洋の横断も容易になる
→スエズ運河の開通（1869年）は、ヨーロッパとアジアの距離を著しく短縮する
- ・(18)) の実用化：情報伝達が飛躍的に迅速化する
→19世紀半ば以降、海底電信ケーブルの敷設が急速に進む

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

4 西洋の衝撃とアジア

テーマ 欧米諸国の進出に対して、アジア諸国はどのような反応をしたのだろうか

a. 中国の開国

- ・世界市場形成へ向けた欧米諸国の進出…「西洋の衝撃」
- ・イギリスの対アジア貿易赤字 → インドで栽培した (19) を清へ密輸
- ・清朝による (19) の取り締まり → (19) 戦争開戦 (1840年)
- ・イギリスの勝利、(20) 条約と追加条約の締結
 - 〔 広州・上海など 5 港の開港
 - (21) 率の協定と (21) の引き下げ
 - 領事裁判権の承認
 - イギリスに片務的最恵国待遇の付与
 - 英・仏がより有利な条件を求め、(22) (1856年) を引き起こす
 - 英・仏の勝利、(23) 条約の後、(24) 条約を締結

b. 英・仏に対する清朝の反応

- ・民衆の反応
 - 開国・貿易に伴う重税に民衆の負担増大
 - (25) 発生 (1851年) … 拝上帝会の洪秀全が指導
 - アロー戦争後、イギリス・アメリカの協力や郷勇の活躍で鎮圧
- ・政府の反応
 - 同治帝の頃、(26) 実施… 李鴻章・曾國藩が主導
 - “中体西用” により、体制を維持したまま西洋の技術を導入

c. オスマン帝国の変容

- ・ヨーロッパの軍事的優位、スラヴ民族の自立、地方権力の成長 → オスマン帝国の改革
- ・アブデュルメジト 1 世がギュルハネ勅令発布
 - (27) 実施：全臣民の平等、法の支配、国家体制の西洋化
 - 戦費やヨーロッパ製品の流入により、財政破綻
- ・(28) 憲法制定 (1876年)
 - アジア初の近代憲法、宰相ミドハト＝パシャによる
 - 帝国内の全ての民族を平等とする… (29)
 - 1878年、(30) によって (28) 憲法停止… 露土戦争中

d. インドの植民地化

- ・17世紀半ばまでのインド… (31) の下繁栄 → 綿布の輸出
- ・17世紀後半… イスラーム化政策の実施
 - 〔 ヒンドゥー教徒の反発
 - 〔 地方に独立政権が現れ、分裂傾向に
- ・1757年、イギリス (32) がインド統治開始
 - 19世紀半ばには、インドのほぼ全域掌握
- ・1857年、(33) の発生… インド人傭兵 (シパーヒー) の反乱がきっかけの反英闘争
 - 鎮圧 → 1877年、英領インド帝国成立

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

5 日本の開国

テーマ 日本の欧米への対応は、中国やオスマン帝国とどのような共通点や違いがあるだろうか

a. 外国船の来訪と開国

- ・江戸幕府…オランダ風説書などにより、諸外国の情報入手
→1842年、(34) の発布…欧米諸国との対立を回避 ←アヘン戦争の影響
水戸藩…(35) 思想の形成
佐賀藩や薩摩藩…外国の技術導入へ
- ・アメリカの(36) が浦賀沖に来航(1853年)…対清貿易の中継地点、捕鯨の基地として開国を要求
*幕府は諸大名や幕臣から意見聴取…「公議」の広まりへ
1854年、(37) の締結 →外国船への補給、漂流民の保護
1858年、(38) の締結 →関税率の協定、領事裁判権を認める

b. 明治維新へ

- 幕府：朝廷の権威により社会の混乱収束を狙う
朝廷：条約締結を拒絶
- 政治的混乱の拡大
- ・幕府のうごき…安政の大獄・桜田門外の変で威信低下 →公武合体運動等により権力強化
 - ・(39) 藩の動き…尊王攘夷の失敗 →倒幕へ向かう
 - ・(40) 藩の動き…幕政の改革を目指す →薩英戦争によりイギリスへ接近
→(41) の成立…(39) 藩と(40) 藩が武力での倒幕へ向けて連携
 - ・1867年、将軍(42) により大政奉還がなされる
→倒幕派が(43) を発し、天皇中心の新政府へ

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。



1 産業革命と労働問題

資料 1 工場法制定をめぐる特別委員会での報告（1832年6月4日）

証言者 サミュエル・クールソン

（イギリス中部の織物工業都市リーズ近郊に住む仕立屋で、近くの梳毛加工工場に働きに出ていた三人の娘を持つ。三人の娘たちが工場に出始めた年齢はそれぞれ、12歳、11歳、8歳。）

- ・ 好況時にあなたの娘たちは朝の何時に工場に行きましたか。
 - －娘たちは朝の3時には工場に行き、仕事を終えるのは夜の10時から10時半近くでした。
- ・ 19時間の労働の間に休息あるいは休養のためにどれだけの休憩時間が与えられたのですか。
 - －朝食に15分、昼食に30分、飲料を取るのに15分です。
- ・ 彼女たちの中でだれがこの労働のために事故を起こしたものはいますか。
 - －はい、長女がはじめて工場に行った時、……歯車の歯が彼女の人差し指の爪を引っ掛け、関節の下からねじ取りました。そして、彼女は5週間、リーズの付属診療所に入院していました。
- ・ その期間彼女の賃金は支払われましたか。
 - －事故が起これば賃金は全く支払われませんでした。
- ・ この過度の労働条件は、さらに多くの残酷な行為を引き起こしましたか。
 - －はい、とても疲労しているときは、鞭打ちがひんぱんに行われました。
- ・ あなたの子どもたちの中で誰か鞭打ちを受けたものはいますか。
 - －はい。どの子どももです。長女についてですが、私は2週間の間、ランカシャーにいました。そして、家に帰ったとき、私は彼女の両肩を見て、「アン、どうしたのだ」と言いました。彼女は「監視人が私を革ひもで打ちました。しかし、監視人の所には行かないで下さい。もし行けば、私たちは仕事を失ってしまうでしょう」と言いました。……
- ・ あなたの娘がこんなに残酷に扱われても、医者に来て見てもらう金銭的な余裕はなかったのですか。
 - －はい。

（『世界史史料6』岩波書店、2007年）

問 1 資料 1 の証言にあるような子どもの労働が行われるようになった理由を、産業資本家と労働者、それぞれの立場で答えよう。

・ 産業資本家の立場

・ 労働者の立場

問 2 資料 1 の証言にあるような労働状況を改善するために、どのような対策（規制／法）が必要か。

問3 問2の対策（規制／法）の実現のために、どのような手段が考えられるか。

2 アヘン戦争に対する当時のイギリス人の見解

資料 2 グラッドストンの議会演説（1840年4月8日）

その起源においてこれほど正義に反し、この国を恒久的な不名誉の下に置き続けることになる戦争をわたくしは知らないし、これまで聞いたこともないと、明言できる。反対意見の議員は、昨夜広東で栄光のうちに翻るイギリス国旗とその国旗が地球上のどこにおいても侮辱されることはないと知ることによって鼓舞されるわれらが兵士たちの精神について雄弁に話された。……だが、そもそもイギリス国旗がイギリス人の精神をいつも高めることになるのはどうしてであろうか。それはイギリス国旗が常に正義の大義、圧政への反対、国民の諸権利の尊重、名誉ある通商の事業に結びついていたからこそであった。ところが今やその国旗は高貴な閣下の庇護の下で、悪名高い密貿易を保護するために掲げられているのである。……

……わたくしは、女王陛下の政府が本動議に関して本院にこの正義に反した、邪悪な戦争を教唆（※1）するよう説得することなど決してないと確信する。わたくしはアヘン貿易をどれだけ激しく弾劾しようと何の躊躇（ちゅうちよ）も感じない。同様な憤激をもってアヘン戦争を弾劾するのに何の躊躇も感じることはない。（※1）教唆：そそのかす

（『世界史史料6』）

問4 グラッドストンは、アヘン戦争に「賛成」「反対」どちらの立場で演説しているか。

（ ）

問5 資料 2 において、問4の根拠となる部分に下線を引こう。

資料 3 パーマストンの議会演説（1840年4月9日）

中国政府がアヘン貿易を取り締まろうとしているのはその臣民のモラルティへの影響を考えてのことだと、われわれは聞かされている。中国の国内法に反し、きわめて多くの人々に道徳的退化の手段を提供し、よき秩序と正しい行いに一致しない習慣を生み出しやすいような貿易をわたくしが擁護することなどあり得ないだろう。しかしわたくしは、どなたであれ、中国政府の意図が道徳的慣習の成長を促すものであったと心から信じていると真顔で言えるかどうか問いただしたい。中国国内でなぜ芥子（※1）の栽培が禁止されなかったのかを問うことが、こうした仮説への反論となる。問題は銀地金（※2）の輸出、農業利害の保護であるというのが、事実である。中国における芥子栽培業者、そして貴金属の流出を防ぎたいと考えている実際的なエコノミストこそが、中国政府にこのアヘンの密貿易の取り締まりを求めさせているのである。……

こうした人々（ロンドンの中国貿易に従事する商人たち）の利益こそが危機に瀕（ひん）しており、こうした

人々こそがこの問題にもっとも利害関心を持っているのである。こうした人々はわたくしの考えでは、概してイギリス政府に敵対的な人々である。……

武力の示威が、さらなる流血を引き起こすことなしに、われわれの通商関係を再興するという願わしい結果をもたらすかもしれないと、すでに表明されている。このことにわたくしも心から同意するものである。

〈※ 1〉 芥子：アヘンの原料となる植物 〈※ 2〉 銀地金：銀塊

(『世界史史料 6』)

問 6 パーマストンは、アヘン戦争に「賛成」「反対」どちらの立場で演説しているか。

()

問 7 **資料 3** において、**問 6** の根拠となる部分に下線を引こう。

問 8 あなたが当時のイギリス議会議員だとしたら、アヘン戦争に対して「賛成」「反対」どちらに投票するか。これまで学んできたことや、**資料 1 ～ 3** を参考にしながら、その根拠も合わせて説明しよう。

3 アヘン戦争後の清とイギリス

資料 4 南京条約および追加条約

(データベース「世界と日本」)

南京条約

第二条 清国皇帝陛下は英国臣民がその家族従者を携えて広東、廈門、福州、寧波及上海の市町において商業に従事するため迫害または拘束をこうむることなく居住するを得しむべきことを約す。また大ブリテン・アイルランド女皇陛下は監督官又は領事官を任命して前記各市町に居住せしめ該地方の清国官憲と右商人との間の通信の仲介者たらしめ下に定むるとき清国政府の税金及料金が適当に英国臣民により納付せらるる様監督せしむべし

虎門寨追加条約（南京条約の追加条約）

第一条 各全権委員署名調印の下に本条約に添付したる輸出入税率は今後広東、福州府、廈門、寧波及上海の五港においてこれを施行すべし

第四条 広東、福州、廈門、寧波及上海の五港開放せらるるの後は英国商人はこれら五港においてのみ貿易することを許さるべし。右の者は他の一切の港又は場所に赴くべからず。また清国人民も他の一切の港または場所においてこれと貿易することを許されざるものとす

第十二条 今や税の公平正規なる税率の設定を見るに至れるをもって従来英清両国商人間に行われたる密貿易手段（多くの場合において清国税関吏の公然の黙許および通謀に依りて行われたるもの）の全然終止せむことを希望す

問 9 資料 4 の条文で決められたことを要約しよう。

資料 5 英一清貿易における税率の変化

(内藤昭『現代中国貿易論』所書店、1979年)

(従価%)

貨 物	単 位	1843年以前の 旧税率	1843年の 新税率	旧税率に比べ 新税率の減少%
綿 花	担	24.19	5.56	77.02
綿 糸	担	13.38	5.56	58.45
一級キャラコ	疋	29.93	6.95	76.78
二級キャラコ	疋	32.53	6.95	78.64
生地キャラコ	疋	20.74	5.56	73.19
綾織綿布	疋	14.92	5.66	62.73

注：①旧税率は広州海関が徴収した正税およびそれ以外の各種の収奪を含み、輸入貨物が実際に負担した税率を示す。
②新旧税率は、すべて1848年の相場で換算してある。

問10 資料 5 から南京条約（追加条約含む）の前と後で、税率がどのように変化しているかを読み取ろう。

問11 イギリスは何を狙ってアヘン戦争を起こしたのか、資料 4、5から考えよう。

まとめ これまで学習してきたことをふまえ、「工業化」は私たちの生活を豊かにしたと言えるのかどうか、根拠を明らかにして自分の考えを述べよう。

3 立憲体制と国民国家①

◆ 単元をつらぬく問い

国民とは何か（その多様性や正負の側面に留意しながら考えよう）



史実の確認

1 アメリカ独立革命

テーマ なぜアメリカは独立することになり、どのような社会を作ろうとしたのか

a. アメリカ独立革命の背景

- ・ 17～18世紀前半、イギリスが北アメリカ東海岸に（①）の植民地を形成した
→ フランスと植民地抗争（第2次英仏百年戦争）：七年戦争でフランスが撤退
- ・ 七年戦争で財政が圧迫されたイギリスは植民地への課税で立て直しを図る
→ 各種課税立法：砂糖法（1764年）、（②）法（1765年）…植民地側は抵抗
→ 1773年、茶法の制定…（③）事件となる
→ これ以外にも自治権剥奪など（耐えがたき5つの法）で圧力
- ・ 植民地側の抵抗
→ イギリス製品の不買運動、（②）法については「（④）」と抗議
→ 1774年、第1回大陸会議開催…植民地は団結してイギリス本国に対抗

b. 独立革命の経過と合衆国の成立

- ・ 1775年、レキシントンとコンコードで武力衝突＝アメリカ独立革命の始まり
- ・ 1776年、（⑤）らの起草で（⑥）発表
→ 全ての人間の自由と平等を主張し、（⑦）が唱えた抵抗権（革命権）を取り入れる
- ・ トマス＝ペインの『コモン・センス』が独立の機運を高める
→ 第2回大陸会議で（⑧）を植民地軍総司令官に選出
- ・ イギリスの孤立化：フランスやスペインが植民地側に協力
→ 1783年、（⑨）でアメリカ合衆国の独立を承認
- ・ 1787年、（⑩）制定…三権分立、連邦制が基本理念

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

2 フランス革命とナポレオン体制

テーマ フランスの市民たちはどのような社会を作ろうとしたのか（革命前と比較すること）

a. フランス革命の勃発

- ・フランスの旧体制
= (11) : 身分制社会。第一身分の聖職者、第二身分の貴族は特権が認められ、第三身分の平民には重い税負担 & 政治的諸権利を認めず
- ・1789年、国王 (12) は、財政赤字解消のため、特権身分に課税しようとする
→ 貴族の反発: (13) を開催して収拾を図るも議決方法を巡り紛糾
→ 第三身分は離脱し、(14) を組織…国王が弾圧
→ 1789年7月14日、パリの民衆が (15) を襲撃＝フランス革命の開始
→ 8月に国民議会は (16) を採択: 国民主権、基本的人権、私有財産の不可侵をうたう
- ・1791年、フランス初の1791年憲法制定（財産による制限選挙）、新たに立法議会在が成立
- ・1792年9月、政権は国民公会へ移り、共和制（政）が誕生する
→ ロベスピエールを中心とするジャコバン派が政権を掌握＝ (17) の開始
→ 1793年、国王 (12)、王妃マリ＝アントワネットの処刑（ギロチン）、封建的特権の無償廃止
→ 革命の波及を恐れた欧米各国は対仏大同盟を結成
→ 1794年、ロベスピエールの処刑＝ (17) の終焉、政局は混乱
- ・1795年、総裁政府成立、政局は不安定
→ 1799年、(18) がブリュメール18日のクーデタで総裁政府を打倒、統領政府を樹立

※革命はフランス植民地にも波及…1804年にハイチがフランスから独立

b. ナポレオンの栄光と没落

- ・1804年、国内では (20) (フランス民法典) を制定…所有権の絶対、契約の自由
- ・1804年、ナポレオンは国民投票で (19) となる（第一帝政の開始）
→ 革命戦争は今までの祖国防衛戦争から侵略戦争へと変化
→ 1806年、神聖ローマ帝国を解体し、ライン同盟を結成。オーストリア、ロシアも撃破
- ・1806年、イギリス孤立化の目的で大陸封鎖令を発布…逆効果となる
- ・1812年、法令を無視したロシア遠征を行うが冬将軍により失敗
→ ヨーロッパでは反フランスの解放戦争が続き、1814年にナポレオンは退位しエルバ島へ流刑
→ 1815年、混乱に乗り皇帝に復位するが（百日天下）、ワーテルローの戦いで敗北、セントヘレナ島へ流刑

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

3

テーマ

a. ウィーン体制の成立

- ・ 1814～15年、(21)) の開催…主宰者はオーストリア外相のメッテルニヒ
 →原則：正統主義＝ヨーロッパをフランス革命以前の状態に戻す
 →ウィーン議定書でウィーン体制が成立：フランスではブルボン朝が復活
- ・ ウィーン体制を支える動き：ヨーロッパ諸国は神聖同盟や四国同盟（のち五国同盟）を結成
- ・ ウィーン体制に反する動き：
 民族を無視した領土分割がなされた結果、各地で生じた独立運動としての (22))
 制限されている政治的、経済的自由を求める動きとしての (23)) (リベラリズム)

b. ウィーン体制の動揺と崩壊

- ・革命の第一波（1820年代）：ヨーロッパ、ラテンアメリカ
ヨーロッパでは、オスマン帝国からの独立運動を展開した（24） 以外はすべて鎮圧
ラテンアメリカでは、コロンビアやペルーなど（25） の植民地が独立を達成
- ・革命の第二波（1830年代）
1830年、フランスで（26） ）：パリ市民が復古王政を打倒し、七月王政が成立
→1830年、革命がベルギーに波及し、ベルギーがオランダから独立
- ・革命の第三波（1840年代）
1848年、フランスで（27） ）：市民が蜂起し国王は亡命、第二共和政が成立
→1848年、革命がドイツとオーストリアに波及し、ウィーンとベルリンで三月革命
→メッテルニヒが亡命し、ウィーン体制は崩壊
→1848年の一連の革命を「（28） ）という

まとめ

4 19世紀後半の欧米とイスラーム世界

テーマ 19世紀後半のドイツとアメリカはどのように国民統合を進めたか

a. イタリアの統一

- ・ (29)) : 立憲君主制を導入、統一運動の中心
首相のカヴールが近代化を推進、統一運動にフランスの援助を得るためクリミア戦争に参戦
→オーストリアとの戦争で領土拡大、統一を進める
→ガリバルディは、赤シャツ隊を率いて両シチリア王国を制圧、国王に献上
- ・ 1861年、(30)) 成立 →オーストリアとの間に領土問題（未回収のイタリア）が残る

b. ドイツの統一

- ・ プロイセン王国：ドイツ北東部、統一運動の中心
国王はヴィルヘルム 1 世、首相は (31))
経済成長と軍備拡張による統一を進める = (32))
→1866年、普墺戦争…統一のライバルであったオーストリアに勝利
→1870年、普仏戦争…フランスとの戦争に勝利
- ・ 1871年、ドイツ帝国成立… (33)) の鏡の間で皇帝の即位式
→立憲君主制、プロイセンを中心とした連邦制国家、ビスマルクが宰相
- ・ ビスマルク外交：ヨーロッパの平和とフランスの孤立化が目的（普仏戦争の報復を恐れる）

c. アメリカ合衆国の発展

- ・ 19世紀前半、(34)) 開拓と領土拡大…先住民は迫害された
- ・ 1848年、カリフォルニア獲得：金脈が発見され、ゴールドラッシュが起こる
- ・ 北部と南部の対立
北部：商工業中心、保護貿易主張、奴隷制反対
南部：農業（綿花の (35)) 中心、自由貿易主張、奴隷制賛成
→1861年、共和党（奴隷制反対）の (36)) が大統領に就任
→南部はアメリカ連合国を結成し、南北戦争開始
→1863年、(36) は (37)) を発し、国内外の支持獲得
→北部勝利
- ・ 1869年、(38)) 開通：農業や鉱工業が盛んになり、移民が増加

d. オスマン帝国の衰退

- ・ ナショナリズムの影響で帝国内諸民族の運動が活発化
- ・ スルタン（君主）主導でタンジマート＝上からの近代化：ヨーロッパ諸国の介入を招き失敗

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。



1 国民国家と国民について考える

問 1 資料 1 の絵画を見て問いに答えよう。

(1)この絵が描いている事件を何というか。

() 事件

(2)この絵について、下の説明文の空欄に適する語句を答えよう。

この絵は、マサチューセッツ植民地のボストン港に停泊している船に、

(①) に扮装した植民地

の人々が乗り込んで、(②) 会社の積み荷である茶を海に投げ捨てている様子を描いたものである。

(3)この絵で、植民地の人々が先住民に扮装しているのはなぜだと考えられるか。

資料 1



問 2 資料 2 のアメリカの1ドル札を見て問いに答えよう。

(1)資料 2 に描かれている肖像画は誰か。

()

(2)アメリカの他の紙幣に描かれている人物を調べ、日本の紙幣に描かれている人物と比較し、両国の特徴と相違点をまとめよう。

資料 2



(3)紙幣にその国を代表する人物を印刷することにどのような意味があると考えられるか。

問3 資料3にはフランスにおける国民や国家の在り方が書かれているが、あなたが最も大事だと思う部分に下線を引き、なぜそう思うのか説明しよう。

資料3 フランス人権宣言

国民議会という形に組織されたフランス人民の代表者たちは、人の諸権利についての無知、忘却または蔑視が公共の不幸と政府の腐敗の諸原因であるにほかならないことにかんがみて、一つの厳粛な宣言のなかで、自然で、譲り渡すことができず、そして神聖な人の諸権利を表明することを決意した。……

第1条 人は、自由かつ諸権利において平等なものであるとして生まれ、そして生存する。社会的区別は、公共の利益への考慮にもとづいてしか行うことはできない。

第2条 すべての政治的結合の目的は、人の自然かつ消滅しえない諸権利の保全にある。これらは、自由、所有権、安全および圧政に対する抵抗である。

第3条 あらゆる主権の原理は本質的に国民に存する。いかなる団体、いかなる個人も、国民から明示的に発するものではない権威を行使することはできない。

第4条 自由とは他者を害しないすべてをなすということである。したがって、すべての人の自然的諸権利の行使は、同じ諸権利の享有を社会の他の構成員にも確保するという以外には、限界をもた

ない。この限界は法によってのみ決定されうる。

第6条 法は一般意思の表明である。すべての市民は自ら直接またはその代表者によってその形成に参加する権利を持つ。法は、保護する場合にも、処罰する場合にも、すべての者にとって同一でなければならない。すべての市民は、法の目からは平等であるから、その能力に従って、かつ、その徳性と才能以外による差別をうけず、すべての公的な位階、地位、職務に等しく就く資格を有する。

第10条 何人も、たとえ宗教上の意見であれ、その意見の表明が法の定める公の秩序を乱さないかぎり、そのために不安を感じさせられないようにしなければならない。

第16条 諸権利の保障が確保されず、権力の分立も定められていない社会には、憲法は存在しない。

第17条 所有権は不可侵のかつ神聖な権利であるから、何人も、適法に確認された公的必要がそれを明らかに要求する場合で、正当かつ事前の補償という条件のもとでなければ、これを奪われることはない。

(データベース「世界と日本」)

・なぜそれが大事だと思うか

問4 資料4はフランス国歌のラ＝マルセイエーズである。歌詞から、どのような意図をもって作られた歌だと考えられるか。

資料4 フランス国歌「ラ＝マルセイエーズ」の歌詞

行こう 祖国の子供たちよ	彼らは私たちの腕の中まで来て
栄光の日が来た！	私たちの息子や妻の 喉を掻き切 ^き って殺す！
私たちに対して 暴政の	武器をもて 市民よ
血まみれの旗が上がった	軍隊を組め
血まみれの旗が上がった	向かおう 向かおう！
聞こえるか 戦場の	けがれた血が
残酷な軍人のうなりが？	私たちの田畑をうるおすまで！

問 5 資料 5 は、スペイン人の画家ゴヤがナポレオン軍の侵攻に対するマドリッド市民の抵抗（スペイン反乱）を描いた「1808年5月3日」である。これを見て問いに答えよう。

資料 5



(1) 絵画中の銃を構えている兵士、倒れている人、手を挙げている人はそれぞれ何を表していると読み取れるか。

・銃を構えている兵士

・倒れている人

・手を挙げている人

(2) ゴヤはどのような感情を込めてこの絵を描いたのだろうか。

2 国民国家とは

問 6 資料 6 から、国民国家形成において、教育に寄せられていた期待を読み取りまとめよう。

資料 6 ヴィルマン（フランスの公教育大臣）『フランスにおける初等教育の現状について』（1841年）
宗教と道徳に立脚した法により創設された初等教育は、人々の心にある義務の感情、家族への純粋な愛情、そして君主と国家の法に対する献身を強固にする。賢明に運営され、不可欠な知識を広めるために適用されるならば、初等教育は労働者階級が彼ら自身の職業を軽蔑する状態にすることなく、その職業の中で抜きん出て、道徳が非難し法が禁じる騒擾^{そうじょう}によってではなく能力の卓越性によって、時にはそこから抜け出る事への情熱と方法を彼らに与えるのだ。

(M. Villeman, Tableau de l'etat actuel de l'instruction primaire en France, Paris, 1841より著者訳)

問 7 **資料 7、8** からドイツの国民国家建設の特色をフランスやアメリカと比較しながら述べよう。

資料 7 ビスマルクの鉄血演説 (1862年)

ドイツが注目しているのはプロイセンの自由主義ではなくて、プロイセンの力であります。……ウィーン〔会議〕の諸条約によるプロイセンの国境は、健全な国家の営みのためには好都合なものではありません。現下の大問題が決められるのは、演説や多数決によってではなく——これこそが1848年〔三月革命〕と1849年〔フランクフルト国民議会と憲法〕の重大な誤りだったのですが——、まさに鉄と血によってなのであります。

(『世界史史料 6』岩波書店、2007年)

資料 8 皇帝ヴィルヘルム 1 世のドイツ国民に対する布告 (1871年)

余は、ドイツ的誠実さで帝国およびその成員の権利を保護し、平和を維持し、民族の統一された力に支えられてドイツの独立を守る義務を自覚して、帝位を引き受ける。余は、不断の平和のうちに、かつまたフランスの新たな攻撃に対して数百年来欠いていた安全を祖国にもたらしてくれる国境のなかで、ドイツ民族がその熱き献身的な闘争の報いを享受できることを期待して帝位を受けるのである。

(『世界史史料 6』)

まとめ ここまでの **資料** の読み解きを通し、次の問いに答えよう。

(1) 国民国家はどのような特徴を持つかについて、その多様性や正負の側面に留意しながらまとめよう。

(2) 「国民であるということ」はあなた自身に何をもたらしているのか、考えを述べよう。

4 立憲体制と国民国家②

◆単元をつらぬく問い

19世紀日本の近代的立憲国家をどう考えるか



史実の確認

1 明治維新期の世界と日本

テーマ 欧米の進出に対し、アジア諸国はどのように対抗したのか

a. 東アジア…イギリスの中国進出

- ・アヘン戦争（1840～42年）…制限貿易撤廃のため、イギリスが清を攻撃
→南京条約（1842年）…香港割譲、広州・上海など5港で自由貿易、多額の賠償金
- ・アロー戦争（1856～60年）…イギリス、フランスが清を攻撃
→天津条約（1858年）、北京条約（1860年）により自由貿易体制の強化

b. 南アジア…インドの植民地化

- ・インド大反乱（1857～59年）…イギリスの支配に不満を持つ人々が武装蜂起
→イギリス政府はこれを鎮圧、東インド会社解散
- ・インド帝国成立（1877年）…ヴィクトリア女王が皇帝に

c. 西アジア…オスマン帝国とイラン（カージャール朝）

- ・オスマン帝国…19世紀に入る頃から軍制改革、近代化推進
→ミドハト憲法制定（1876年）…アジア初の憲法
- ・イラン（カージャール朝）…タバコ・ボイコット運動をきっかけに民族運動
→イラン立憲革命（1905～11年）…王の専制支配に反発

d. 日本…明治新政府の成立

- ・開港 →尊王攘夷運動が活発化 →薩摩藩・長州藩で倒幕の動き
- ・(①) (1867年) …天皇中心の新政府樹立
- ・(②) (1871年) …すべての藩を廃止し、府県設置

⇒天皇中心の中央集権国家体制確立

一連の動きを、(③) と呼ぶ

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

テーマ

テーマ 明治政府は、周辺の国や地域とどのような関係を築こうとしたのか

a. 岩倉使節団

- ・大使は (④)、当初の目的は条約改正の予備交渉であったが失敗
- ・諸国の実情を見聞して帰国

b. 留守政府

- ・(⑤)) らが中心
- ・学制、徴兵制、地租改正など独自の諸改革を進める

c. 明治六年の政変

- ・欧米視察から帰国した（⑥）らが政府内の主導権を握る

d. 清（中国）の改革

- ・ (7) … 曾国藩や (8) が中心となり、欧米の技術導入
- ・ しかし、政治制度は取り入れず = (9)

e. 東アジア諸地域との外交

- ・(10)) (1871年) …清と対等な条約
- ・(11)) (1876年) …前年の江華島事件をきっかけに、朝鮮を開国させる
- ・(12)) (1875年) …千島列島を日本領に、樺太をロシア領に
- ・(13)) …琉球王国に対する一連の施策

台湾出兵 (1874年) → (14)) 設置 (1879年)

まとめ

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

3 大日本帝国憲法の制定

テーマ 大日本帝国憲法は、どのような特色をもった憲法だったのか

a. (15)) の高まり

- ・板垣退助、後藤象二郎らが民撰議院設立建白書を提出
- ・政府は1881年、10年後の国会開設を約束
- ・(16)) らをヨーロッパへ派遣
→ドイツの憲法理論を学び、(17)) を導入

b. (18)) (明治憲法) 発布 (1889年2月11日)

- ・(19)) …天皇が定めて国民に授ける憲法
- ・(20)) …宣戦、講和、条約締結、陸海軍の統帥権など
- ・帝国議会… (21)) と (22)) の二院制

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

4 条約改正の実現

テーマ 条約改正を達成できたのはなぜか

a. 背景

- ・憲法制定 (1889年)、諸法典の整備 →近代立憲国家へ
- ・日清戦争 (1894～95年)、日露戦争 (1904～05年) →欧米諸国にとっての日本の重要性が高まる

b. 条約改正交渉の経過

- ・青木周蔵外相…ロシアのシベリア鉄道建設 →イギリスが日本との関係強化をはかり、交渉進展
→しかし、(23)) によって交渉中止
- ・(24)) 外相
→日清戦争直前の1894年、(25)) を撤廃する日英通商航海条約調印、他の欧米諸国とも同様の条約締結
- ・(26)) 外相…日露戦争後に交渉
→ (27)) を回復し、条約改正達成

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。



史料・資料を読む

1 資料 1 を読み、問いに答えよう

資料 1 憲法って、何だろう？

憲法って、誰のために、何のためにあるの？

憲法は、国民の権利・自由を守るために、国がやってはいけないこと（またはやるべきこと）について国民が定めた決まり（最高法規）です。

たとえば、国民の表現の自由を守るため、憲法21条は「…表現の自由は、これを保障する」と定めて、国に対し、国民の表現活動を侵してはならないと縛りをかけているのです（これが「基本的人権の保障」です。）。

このように、国民が制定した憲法によって国家権力を制限し、人権保障をはかることを「立憲主義」といい、憲法について最も基本的で大切な考え方です。

そして、国民の権利・自由を守るため国に縛りをかけるという役割をもっている憲法が、簡単に変えられてその縛りが緩められてしまうようでは困りますから、通常、立憲主義の国では、憲法を変えるには、普通の法律を変えるより厳しい手続が必要とされています。

憲法は、国民のために、国民の権利・自由を国家権力から守るためにあるのです。

（日本弁護士連合会ウェブサイトより抜粋）

問 1 憲法とはどういうものか、次の空欄にあてはまる語句を書こう。

憲法とは…（① ）を制限し、（② ）を守るためのものである。

2 資料 2、3 を読み、問いに答えよう

資料 2 日本国憲法 (1947年)

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。……

第一条 天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であつて、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く。

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

二 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

第十一条 国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。

第九十九条 天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。

資料 3 大日本国帝国憲法 (1889年)

第一条 大日本帝国は万世一系の天皇^{これ}之を統治す

第三条 天皇は神聖にして侵すべからず

第四条 天皇は国の元首にして統治権を総攬^{そうらん}し此^この憲法の条規^よに依り之を行う

第五条 天皇は帝国議会の協賛を以て立法権を行う

第十一条 天皇は陸海軍を統帥す

第二十八条 日本臣民は安寧秩序を妨げず及臣民たるの義務に背かざる限りに於て信教の自由を有す

第二十九条 日本臣民は法律の範囲内に於て言論著作印行集会及結社の自由を有す

第三十三条 帝国議会は貴族院衆議院の両院を以て成立す

第三十五条 衆議院は選挙法の定むる所に依り公選せられたる議員を以て組織す

第三十八条 両議院は政府の提出する法律案を議決し及各々法律案を提出することを得

第四十条 両議院は法律又は其^その他の事件に付き各々其の意見を政府に建議することを得但し其の採納を得ざるものは同会期中に於て再び建議することを得ず

問 2 資料 2、3 を読んで、それぞれの憲法について、問いに答えよう。

(1)主権（統治権）がどこにあるのかを読み取ろう。

(2)人権を保障している条文を答えよう。

資料 2 (1)主権 () (2)人権の保障 第 () 条

資料 3 (1)主権 () (2)人権の保障 第 () 条

3 資料 4、5 を読み、問いに答えよう

資料 4 オスマン帝国憲法（ミドハト憲法）（1876年）

第三条 オスマン家の至高なるスルタン権はイスラームの偉大なカリフ権を有し、古来の方法に従ってオスマン家系の最年長男子に帰する。

第七条 国務大臣の任免、位階勲章の授与、特別州における特権条項に応じた知事の任免、貨幣の鑄造、金曜礼拝の説教における御名の読誦、外国との条約締結、宣戦布告および講和、陸海軍の統帥、軍事行動の指揮とイスラーム法および法律の執行、公行政に係わる命令の制定、刑事裁判により宣告された刑罰の軽減、帝国議会の召集と停会、必要と考える時に議員を新たに選挙する条件の下での代議員の解散は、スルタンの神聖な大権に属する。

第八条 オスマン国籍を有する者はすべて、いかなる宗教宗派に属しようとも例外なくオスマン人と称される。オスマン人の資格は、法律の定めるところにより、取得または喪失される。

第九条 すべてのオスマン人は個人の自由を有し、他者の自由を侵さない義務を負う。

第十一条 オスマン帝国の国教はイスラーム教である。この原則を遵守し、かつ国民の安全と公共良俗を侵さない限り、オスマン帝国領において認められるあらゆる宗教行為の自由、ならびに処々の宗教共同体に与えられてきた宗教的特権の従来通りの行使は、国家の保障の下にある。

第四十二条 帝国議会は、元老院と代議院という名の両議院でこれを構成する。

（『世界史史料 8』岩波書店、2009年）

資料 5 フランス第二共和政憲法（1848年）

前文 神の御前にて、フランス人民の名において、国民議会は次のように宣言する。

四 フランス共和国は、自由、平等、友愛を原理とする。フランス共和国は、家族、労働、所有、公共の秩序を基盤とする。……

八 共和国は、市民の身体、家族、信仰、財産、労働を保護し、すべての者に必要不可欠な教育をだれもが受けられるようにしなければならない。……

第一条 主権は、フランス市民の総体に存する。主権は、譲渡不可能であり、不可侵である。いかなる個人といえども、また人民のいかなる部分といえども、主権の行使を独占することはできない。……

第二十条 フランス人民は、立法権を一院制の議会に委譲する。……

第四十三条 フランス人民は、行政権を共和国大統領の資格を授与される一市民に委譲する。……

（『世界史史料 6』岩波書店、2007年）

問 3 資料 3（大日本帝国憲法）と、資料 4、5 を比較して、共通点と相違点を読み取ろう。

※問 2 のように、主権や人権の保障などに注目しよう。

(1) 資料 3 と 資料 4 の比較

共通点

相違点

(2) 資料 3 と 資料 5 の比較

共通点

相違点

-------------------	-------------------

問 4 資料 3 ～ 5 の各国の憲法について、現在の日本国憲法（資料 2）を100点とした場合、何点だろうか、理由も考えよう。

- 【評価の基準】・いかに権力を制限しているか（より国民の意見を取り入れる形になっているか）
・どの程度人権を保障しているか

【点数について】100点満点ではないので、100点を超える点数をつけてもよい。

資料 3 （ ）点

理由

資料 4 （ ）点

理由

資料 5 （ ）点

理由

4 資料 6～9 を読み、問いに答えよう

資料 6 オックスフォード大学教授ダイセーの談話（金子堅太郎『欧米議院制度取調巡回記』）

日本政府が、ドイツ憲法を模範として憲法を制定されたことは、実に賢明なことであったと言わざるを得ません。ドイツは、現在、勢いがさかんに増している国であり、将来がもっとも期待されている国です。……思うに、君主政体をながく維持しようとすれば、帝王の大権を強大にせざるを得ません。イギリスの君主政体は、イギリスに特有なもので、他の国で容易にこれを模倣することはできないのです。

資料 7 イギリスの大学者スペンサーの談話（金子堅太郎『欧米議院制度取調巡回記』）

日本憲法を制定するにあたっては、漸進的な保守主義の立場をとって、日本の歴史や習慣を基礎として、その一方で欧米各国の憲法精神を採用して、旧来の日本の政体を欧米の立憲主義に適用させていくことを必要とします。……今あなたから聞くとくところによれば、日本の憲法は日本古来の歴史や習慣を基本として、漸進的な保守主義をもって起草されたという。ならばこの憲法は、私がもっとも賛成とするものであります。

資料 8 憲法の発布（『ベルツの日記』）

二月九日（東京）東京全市は、十一日の憲法発布をひかえてその準備のため、言語に絶した騒ぎを演じている。到るところ、奉祝門、照明、行列の計画、だが、滑稽なことには、誰も憲法の内容をご存じないのだ。

二月十六日（東京）日本憲法が発布された。もともと国民に委ねられた自由なるものはほんの僅かである。しかしながら、不思議なことにも、以前は「奴隷化された」ドイツの国民以上の自由を与えようとし
ないといって悲憤慷慨したあの新聞が、すべて満足を表しているのだ。

資料 9 「愚にして狂なる」国民（幸徳秋水『兆民先生』）

明治二十二年春、憲法発布せらるる、全国の民歡呼沸くが如し。先生嘆じて曰く、吾人賜与せらるるの憲法果して如何の物か、玉かはた瓦か、未だ其の実を見るに及ばずして、先づ其名に酔ふ、我國民の愚にして狂なる、何ぞ此くの如くなるやと。憲法の全文到達するに及んで、先生通読一遍ただ苦笑するのみ。

まとめ 問 1～4 の内容、資料 6～9 を参考にしながら、当時の日本の近代的立憲国家体制について評価を下し（5段階評価）、その理由も書こう。

日本の近代的立憲国家体制への評価（該当する数字に○をつけよう）

【 高 5 4 3 2 1 低 】

理由

5 帝国主義政策

◆単元をつらぬく問い

なぜ欧米列強および日本に帝国主義が広がり、植民地形成に至ったのか。また帝国主義はどのような変化をもたらしたか



史実の確認

1 列強による帝国主義

テーマ なぜ欧米列強は帝国主義を進めていったのか

a. 第2次産業革命と帝国主義

- ・1870年代～、ヨーロッパ、北アメリカで(①)が起こる
「石油と電力」を基本とする技術革新が進展 …金融と結び付いて独占資本主義が成立
→欧米列強は、原料獲得・市場の拡大・資本の投下先を求め(②)政策を進める

b. 欧米諸国の帝国主義政策

<イギリス>

- ・1877年、(③)を皇帝とするインド帝国が成立
- ・植民地相(④)のもと、アフリカ・アジアへ進出

<アメリカ合衆国>

- ・1889年、(⑤)会議
→アメリカ大陸諸国間の関係強化を目指す
- ・1898年、(⑥)戦争でスペインに勝利
→フィリピン・グアムを獲得、ハワイ併合

<ドイツ>

- ・(⑦)が世界分割を求め「(⑧)」をおし進める
→イギリス・フランス・ロシアなどとの緊張関係を高める

<フランス>

- ・国内の政情が不安定 →国内対立を緩和するためアフリカ植民地の拡張を進める
→アフリカ・東南アジアの植民地化をめぐるイギリスと対立
- ・20世紀初頭、ドイツの進出を警戒 →(⑨)を結ぶ

<ロシア>

- ・1890年代、外国(フランス)資本導入により工業化が進む
- ・1891年、(⑩)の建設開始
極東地域に進出し、国外市場の開拓を狙う →日本と対立し(⑪)戦争へ

列強による世界分割競争 →(⑫)へとつながる

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

2 帝国主義がアジア・アフリカにもたらしたもの

テーマ 欧米列強の帝国主義に対し、アジア・アフリカはどのような対応したのか

a. 列強のアフリカ分割

- ・20世紀初めのアフリカ大陸

エチオピア帝国とリベリア共和国を除き全域が列強の支配下となる＝「(13)

単一の農産物や鉱物資源を生産する(14) 経済化が進む

b. 西アジア諸国の改革

<オスマン帝国>

- ・1876年、(15) 制定＝アジア初の憲法

→露土戦争の勃発により停止

→1908年、憲法の復活を求め(16) が起こる

<イラン(カージャール朝)>

- ・民族意識の高まり

(17) が勃発…イギリス人へのタバコ利権譲渡に反対

1905年：(18) …王の専制支配に反対

(19) …ムスリムの連帯を強化し、帝国主義への抵抗を目指す

提唱者：(20)

<インド>

- ・インド大反乱後…イギリス領インドが成立

- ・1885年、(21) の創設…成立当初はイギリスに協力的

→のちに自治・独立を求め(22) ら急進派がイギリスの植民地政策への批判を強める

<東南アジア>

- ・植民地化への抵抗

フィリピンの指導者…(23)

ベトナムの指導者…(24)

→国民意識が高まり、独立や自治を求める民族運動が激化

(例)(25) 運動…反仏独立運動から展開された日本への留学運動

日本政府から追放され挫折

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

3 日清戦争とその影響

テーマ 欧米列強による中国分割はなぜ開始されたのか

a. 日清戦争

- ・朝鮮への進出を図る日本と宗主国を主張する清が対立 → 朝鮮国内での政治対立が激化
- ・ 1884年、(26) … 日本軍と結んだ朝鮮国内の急進改革派によるクーデタ
→ 清軍介入により失敗。翌年、(27) … により日清の衝突は回避
- ・ 1894年、(28) … 朝鮮で農民蜂起。日本と中国が鎮圧へ
(29) … 日本軍の圧倒的勝利に終わる
→ 日本初の本格的な対外戦争。「国民」の自覚が高まる

b. 東アジアの構造変動

- ・ 1895年：(30) … が結ばれる
清は (31) … の独立、(32) … や台湾の割譲、賠償金 2 億両^{テール}の支払いを承認
ロシア、フランス、ドイツによる (33) … → (32) … は清に返還
- ・ 清… 朝鮮に対する宗主権喪失、琉球の日本帰属が決定
→ 東アジアの伝統的な華夷秩序（冊封体制）の崩壊
- ・ 列強による中国への帝国主義侵略が本格化 → 中国分割の開始

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

4 日露戦争

テーマ 東アジアにおける日本の立ち位置はどのように変化したのか

a. 義和団事件

- ・ 1900年、(34) … 「扶清滅洋」を旗印に義和団が列強の侵略に反発
清が義和団とともに各国に宣戦
→ 8 か国連合軍に敗れ、清は賠償金支払いや列強の北京駐留を承認

b. 日露戦争

- ・ 義和団事件後
日本はロシアを警戒、イギリスと (35) … を結ぶ
- ・ 1904年、(36) … 勃発
1905年 1 月、日本が旅順を陥落させる 3 月、奉天会戦に勝利 5 月、日本海海戦に勝利
→ 日本が優勢となるも、戦争の長期化で継続が困難
ロシアでも (37) … が発生
※ 1905年 1 月、首都ペテルブルクで「(38) … 事件」が発生し、革命が広がる
1905年 9 月、(39) … 締結
仲介：アメリカ大統領 (40) …

c. 朝鮮半島の植民地化

- ・ 1897年、朝鮮が国号を (41) に改める
日本 : (39) で朝鮮半島での優先権獲得 → 3 度にわたる (42) で韓国を保護国化
- ・ 1910年、日本による (43) → 京城 (現在のソウル) に朝鮮総督府を設置

d. 辛亥革命

- ・ 清 : 義和団事件後、諸改革を始める
(例) 科挙の廃止、立憲制への移行など
- ・ 清朝打倒を目指す革命運動
(44) : 三民主義をかかげて革命勢力を結集
※ 三民主義… 民族独立・民権確立・民生安定
- 1911年10月、(45) → 1912年1月、南京に共和制の (46) が成立

まとめ 学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

史料・資料を読む

1 列強による帝国主義

問 1 **資料 1** の人物はイギリスのケープ植民地首相セシル＝ローズである。この人物の両足はアフリカ大陸の最北と最南に置かれているが、これは何を意味しているか。

資料 1



問 2 **資料 2** について問いに答えよう。

資料 2 ルナン『文明化の使命』

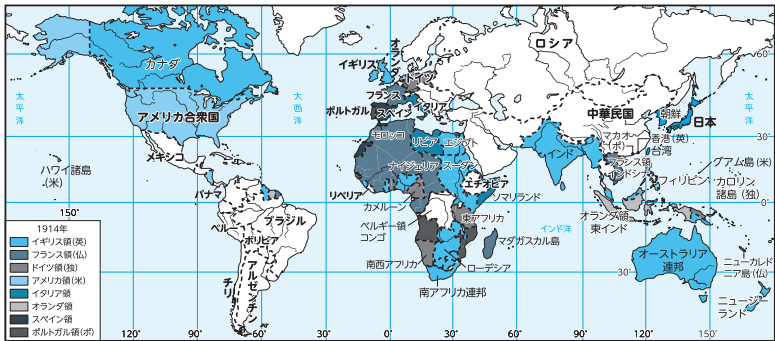
- (1) 文中の A 「優秀な人種」、B 「劣等なあるいは退化した人種」はそれぞれ何を指しているか。
- A ()
- B ()
- (2) この文章の筆者が言いたいことは何だろうか。

A 優秀な人種が、B 劣等なあるいは退化した人種の向上をはかることは、人類にとって、神の摂理になった事業である。わが大陸の住民は身分の低い庶民も、ほとんどつねに没落貴族といえる。彼は労働よりは戦いを選ぶ。すなわち、世界を征服することこそがわれわれの使命なのである。

問 3 資料 3 を見て、問いに答えよう。

(1)欧米列強はどの地域に進出して植民地としたのだろうか。

資料 3 列強による世界分割



(2)欧米列強はなぜ(1)のような地域に進出して植民地化を進めていったのだろうか。教科書などを参考に述べよう。

2 帝国主義がアジア・アフリカにもたらしたもの

問 4 資料 4 を見て、列強によるアフリカ分割が現在にどのような影響を与えているか、以下の問いに答えよう。

資料 4 主な国の商品別輸出割合 (『世界国勢図会 2022/23』)

中国 (2020年)			アメリカ合衆国 (2020年)			ガーナ (2019年)			ナイジェリア (2020年)		
輸出	百万ドル	%	輸出	百万ドル	%	輸出	百万ドル	%	輸出	百万ドル	%
機械類	1 150 073	44.4	機械類	351 431	24.6	金 (非貨幣用) ..	6 199	37.0	原油	26 322	75.4
うち通信機器	270 786	10.5	うち集積回路	43 175	3.0	原油	5 252	31.3	液化天然ガス	3 922	11.2
コンピュータ	170 178	6.6	自動車	101 941	7.1	カカオ豆	1 852	11.0	船舶	2 173	6.2
集積回路	116 496	4.5	うち乗用車	45 643	3.2	ココアペースト	410	2.4	石油ガス	472	1.4
繊維品	154 091	6.0	部分品	33 978	2.4	野菜・果実	400	2.4	ごま	300	0.9
衣類	141 501	5.5	精密機械	66 617	4.7	うちカシュナッツ	243	1.5	カカオ豆	292	0.8
金属製品	107 039	4.1	うち医療用機器	25 574	1.8	マンガン鉱	350	2.1	化学肥料	190	0.5
自動車	81 706	3.2	石油製品	64 826	4.5	ココアバター	337	2.0	ヘリコプター	171	0.5
精密機械	78 625	3.0	医薬品	57 850	4.0	魚介類	200	1.2	野菜・果実	140	0.4
家具	69 058	2.7	原油	50 286	3.5	無機化合物	123	0.7	うちカシュナッツ	113	0.3
有機化合物	48 798	1.9	プラスチック	46 615	3.3	計×	16 768	100.0	計×	34 900	100.0
鉄鋼	46 451	1.8	有機化合物	33 690	2.4						
照明器具	38 914	1.5	大豆	25 851	1.8						
はきもの	38 111	1.5	金属製品	25 682	1.8						
がん具	33 483	1.3	野菜・果実	24 223	1.7						
プラスチック	33 380	1.3	金 (非貨幣用) ..	23 433	1.6						
石油製品	27 006	1.0	肉類	19 711	1.4						
野菜・果実	25 562	1.0	液化石油ガス	14 484	1.0						
医薬品	22 067	0.9	液化天然ガス	13 189	0.9						
船舶	21 740	0.8	計×	1 430 254	100.0						
計×	2 589 098	100.0									

(×…その他とも)

ザンビア (2020年)			ボツワナ (2020年)		
輸出	百万ドル	%	輸出	百万ドル	%
銅	5 733	73.5	ダイヤモンド	3 749	88.7
銅鉱	183	2.3	機械類	143	3.4
セメント	124	1.6	金 (非貨幣用) ..	46	1.1
機械類	118	1.5	ソーダ灰	40	0.9
葉たばこ	112	1.4	銅鉱	26	0.6
電力	112	1.4	塩	24	0.6
鉄鋼	98	1.3	自動車	23	0.5
硫酸	95	1.2	牛肉	19	0.5
砂糖	86	1.1	プラスチック	16	0.4
貴石・半貴石	71	0.9	石灰	16	0.4
計×	7 805	100.0	計×	4 256	100.0

(1) **資料 4** から、現在の先進国とアフリカの輸出品目について比較し、わかることをまとめよう。

(2) アフリカ諸国の現在の生産・輸出割合が **資料 4** のようになっている歴史的な背景を述べよう。

(3) **資料 5** について、帝国主義の時代に直線の国境が引かれたことによる現代アフリカの問題点にはどのようなものがあるだろうか。

資料 5 アフリカ国境



問5 資料6を例に、帝国主義に対してアジア・アフリカでどのような動きが見られたか、述べよう。

資料 6 アフガーニーの主張

彼らのところに押し寄せる全ての洪水から、その協調によって、自分たちを守るダムを造ることができた！しかし、私は全てのムスリムが一人の指導者を持たなければならないということを主張しているのではない。というのも、そのようなことは恐らく達成が困難だからである。しかしながら、私は彼らの全能の主はクルアーン（コーラン）であり、宗教が彼らの統一の基礎であるべきであると求める。

3 日清戦争とその影響

問6 資料7のA～Cの人物が表している国を□から選び、答えなさい。

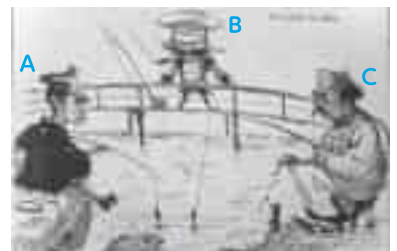
ロシア 日本 中国

A ()

B ()

C ()

資料 7 ビゴー『魚釣り遊び』



問7 日清戦争の時期に、日本の戦争観はどうなっていたのか。資料 8～10を見て述べよう。

資料 8 日本のジャーナリストによる記録

忠君愛国〈主君に尽くし、国を愛すること〉の標語が学校で叫ばれたそもその初めは、この頃、すなわち明治24、5年（1891、2年）頃であつたろう。だから、初めそれは学校児童のみの標語だった。それが家庭にまで入り来り、町内のどんな者にまでも行き^{わた}ったのは、日清戦争中のことであり、戦争が人々の心髄にまでこれを打ち込んだのだった。

（生方敏郎『明治大正見聞史』）

資料 9 戦争祝賀会の様子（1894年12月）



（「東京市祝捷大会」都立中央図書館所蔵）

資料 10 1890年に出された教育勅語（1948年まで有効）

原文

一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ
以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼ス
ヘシ是ノ如キハ獨リ朕カ忠良
ノ臣民タルノミナラス又以テ
爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足
ラン

現代語訳（明治神宮崇敬会刊『たいせつなこと』）

もし国家の平和と国民の安全が危機に陥るような非常事態に直面したら、愛する祖国や同胞を守るために、それぞれの立場で「勇気を出してがんばります」と覚悟を決め、力を尽くしましょう。いま述べたようなことは、善良な日本国民として不可欠の心得であると共に、その実践に努めるならば、皆さんの祖先たちが昔から守り伝えてきた日本的な美德を継承することにもなりましょう。

4 日露戦争

問 8 下関条約とポーツマス条約は、いずれも日本が勝利を収めた戦争における条約である。この2つの条約の大きな違いは何か。資料 11、12から読み取ろう。

資料 11 下関条約

- ・清国は朝鮮の独立を認める。
- ・清国は遼東半島、台湾、澎湖諸島を日本に譲り渡す。
- ・清国は賠償金として2億^{テール}両（約3億1000万円）を日本に支払う。

資料 12 ポーツマス条約

- ・ロシアは韓国に対する日本の指導権を認める。
- ・両国とも満州から撤退する。
- ・ロシアは長春以南の鉄道利権などを日本に譲渡する。
- ・ロシアは樺太（サハリン）を日本に割譲する。
- ・日本海、オホーツク海、ベーリング海のロシア領地沿岸における日本の漁業権を認める。

問 9 ポーツマス条約締結後には「日比谷焼き打ち事件」が起こった。その原因として考えられるものを、問 8 と 資料 13、14 を関連づけてまとめよう。

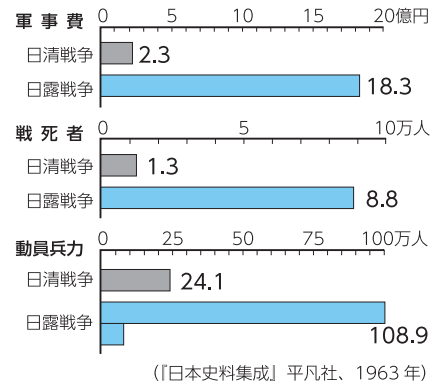
資料 13 七博士講和条件 (『朝日新聞』1905年6月14日)

日露戦争後の条約として望まれる内容を示したもの

講和条件

- 一 償金 三十億円
- 一 土地
 - (一) 樺太、カムチャツカのみならず沿海州全部の割譲
 - (二) 遼東半島に於て露国の有せる権利を譲与せしむること
 - (三) 満州に関しては日清両国の決定する所に任すべし
- 一 物
 - (一) 東清鉄道及びその敷地の譲与
- 一 国際役務
 - (一) 太平洋並びに日本海に露国をして艦隊を置かしめざること

資料 14 日清戦争と日露戦争の比較



問 10 日露戦争以後のアジア諸国から日本への評価はどのように変化していったのかを 資料 15、16 を読んで答えよう。

資料 15 ネルーが見た日露戦争

日本は勝ち、大国の列に加わる望みをとげた。アジアの一国である日本の勝利は、アジアのすべての国ぐにに、大きな影響をあたえた。わたしは少年時代、どんなにそれを感激したかを、おまえによく話したことがあったものだ。たくさんのアジアの少年、少女、そしておとなが、おなじ感激を経験した。ヨーロッパの一大強国はやぶれた。だとすればアジアは、ヨーロッパを打ち破ることもできるはずだ。ナショナリズムはいつそう急速に東方諸国にひろがり、「アジア人のアジア」の叫びが起こった。ところが、日露戦争の直後の結果は、少数の侵略的帝国主義国のグループに、もう一国をつけくわえたというにすぎなかった。

(ネルー「父が子に語る世界歴史」)

資料 16 イギリス紙記者が見た義兵闘争

ある老人は……日本兵が彼の家に放火するのを見て、そのまえにひざまずき、その足をつかんで涙ながらに哀願した。「……私の家を焼かないでくれ。そこが私の死に場所なのだ。私は年寄りで死ぬ日も近い」と。日本兵は彼をはらいのけたが、老人はなおも哀願した。「お願いだ！お願いだ！」と、彼は泣いた。その時、日本兵は銃をとって老人を撃った。我々は彼を埋葬した。

(マッケンジー「義兵闘争から三一独立運動へ」)

「近代化と私たち」のまとめ

- ◆第2部では、近代化がもたらしたことについて様々な観点から学習を進めてきました。そこには良いことも悪いこともありました。また、それらのことは現代を生きる“私たち”にも影響を与えると同時に、“私たち”とは一体誰なのかを巡る争いでもありました。そこで、「統合・分断」、「同化・異化」という観点で近代化を再考してみましょう。

問1 これまでの学習を振り返り、あなたが第2部の最初に表現した「問い」について、わかったことや考察したことをまとめてみよう。

1 近代化がもたらしたことについて、「統合・分断」、「同化・異化」という観点から再考する。

資料 1 シモン・ボリバル（南米独立の活動家）『アンゴストゥーラ演説』（1819年）

われわれの民衆はヨーロッパ人でもなければ北アメリカ人でもない。われわれにはヨーロッパから醸し出されたというよりもむしろアフリカとアメリカのブレンドの香りがすると言える。そしてスペインですら、その自らが持つアフリカの血と制度と性格から、ヨーロッパ的であることを放棄している。われわれがどの家系に属しているのか正確に確定することは不可能である。先住民の大部分は絶滅させられており、ヨーロッパ人はアメリカ人やアフリカ人と混血し、そしてアフリカ人はまた先住民やヨーロッパ人と混血している。すべての者が一人の同じ母親の体内から生まれたが、われわれの父親は、生まれた場所や血統も違って、外国人であり、外見上は肌の色がみんな異なっている。この相違が最も重要なことである。……

この混沌こんとんの中からわれわれの生まれたばかりの共和国を救い出すことを考えると、もし国民大衆を、政府の構造を、法制度を、そして国民の精神を一つに融合することができなければ、我々のすべての道徳心だけではその混沌から助け出す力は十分ではないであろう。団結、団結、団結、それが我々のモットーでなければならない。われわれ市民ひとりひとりの血は異なっているが、一つになるために混血せねばならない。憲法は権力を分立させているが、われわれは団結するために一つにならねばならない。

（頼田敏之「シモン・ボリーバルの「ネイション」観」『神奈川大学大学院 言語と文化論集』第24号、2018年）

資料 2 アメリカ合衆国『帰化法「自由白人」規定』（1790年）

アメリカ合衆国連邦議会の上院および下院は、以下の法律を定める。すなわち、外国で生まれたもので、自由な白人であり、アメリカ合衆国の管轄内に二年間居住したものは、市民となることが認められる。……

資料 3 アメリカ合衆国『排華移民法』（1882年）

中国人労働者のアメリカ合衆国への流入が、領域内の土地において守られるべき秩序を危険にさらしているとのアメリカ合衆国政府の判断により、召集された連邦議会の上院および下院は、以下の法律を定める。……

第1条 本法律の制定の九〇日後以降、また、本法律が一〇年後に失効するまでの間、アメリカ合衆国への中国人労働者の入国を停止する。……

第14条 これ以降、州法廷およびアメリカ合衆国法廷は中国人に市民権を認めてはならない。……

資料 4 アメリカ合衆国『ドーズ法』(1887年)

第6条 ……土地割り当てが実施されたインディアンの各集団あるいは各部族の個人およびすべての構成員は、居住する州あるいは准州の民法と刑法から利益を享受するとともに、法に従わねばならない。……さらにこの法の条項、あるいはいかなる法律や条約の下でも、土地を割り当てられた合衆国領内に居住するインディアン、また合衆国領内に生まれ、部族から離れて自発的に居住場所を選び、文明生活の習慣を選んだすべてのインディアンは、ここに合衆国市民であることを宣言され、市民としてのすべての権利、特権、そして免除の資格を有するものとする。

(資料2～4出典『世界史史料7』岩波書店、2008年)

問 2 **資料 1**において、共和国を救い出すために必要な市民とはどのような人たちか、まとめよう。

--

問 3 **資料 2～4**を参考に、アメリカの市民とはどのような人たちか、まとめよう。

--

問 4 アメリカの日系移民と、中南米の日系移民について、19世紀後半から20世紀前半にかけての歴史を調べてまとめよう。また、ペルーにおける中華系移民についても同様にまとめよう。

アメリカの 日系移民	
中南米の 日系移民	
ペルーの 中華系移民	

資料 5 北海道旧土人保護法（1899〔明治32〕年）

第一条 北海道旧土人にして農業に従事する者又は従事せむと欲する者には、一戸に付土地一万五千坪以内を限り無償下付^よすることを得

第二条 前条に依り下付^{ほか}したる土地の所有権は左の制限に従ふべきものとす

- 一、相続に因るの外譲渡^{あつ}することを得ず
- 二、質権・抵当権・地上権又は永小作権を設定することを得ず
- 三、北海道庁長官の許可を得るに非ざれば地役権を設定することを得ず
- 四、留置権・先取特権の目的となることなし

前条に依り下付したる土地は下付の年より起算して三十箇年の後に非されば地租及地方税を課せず、又登録税を徴収^{おひ}せず

旧土人に於て従前より所有したる土地は北海道庁長官の許可を得るに非されば相続に因るの外之^{これ}を譲渡し又は第一項第二及第三に掲げたる物権を設定^そすることを得ず

第三条 第一条に依り下付したる土地にして其の下付の年より起算し十五箇年を経るも、尚開墾せざる部分は之を没収す

第四条 北海道旧土人にして貧困なる者には農具及種子を給することを得

第五条 北海道旧土人にして疾病に罹^{かか}り自費治療すること能はざる者には薬価を給することを得

第六条 北海道旧土人にして、疾病、不具、老衰又は幼少^{たぬ}の爲自活すること能はざる者は従来の成規（明治七年第百六十二号恤救規則^{じゆつきうきう}）に依り救助するの外仍^{すなわち}之を救助し救助中死亡したるときは埋葬料を給することを得

第七条 北海道旧土人の貧困なる者の子弟にして就学する者には授業料を給することを得

第九条 北海道旧土人の部落を爲したる場所には国庫の費用を以て小学校を設くることを得

第十条 北海道庁長官は北海道旧土人共有財産を管理することを得

北海道庁長官は内務大臣の許可を経て共有者の利益の爲に共有財産の処分^なを爲し又必要と認むるときは其の分割を拒むことを得

北海道庁長官の管理する共有財産は北海道庁長官之を指定す

問 5 **資料 5** について、**資料 4** との類似点を探してまとめよう。

問 6 **資料 5** について、**資料 4** との相違点を探してまとめよう。

問 7 **資料 5** の法律制定後に生じた、「異化」の動きとして、どのようなことがあったと考えられるか、自分の考えを書こう。

問 8 あなたの「問い」について、必要があれば修正し、さらに調べてみたいことをまとめてみよう。
修正が不要な場合、新しい疑問や新たに調べてみたいことをまとめてみよう。